

東海カード会員だより

2022年6月20日発行

各支部総会・校友会(同窓会・後援会・白鷗会各会員を含みます)日程(予定)

…詳細は各担当事務局・または学園校友ユニットへ…

1. 7月16日(土) 静岡県学園校友会 TOKAI フェスタ
時間: 10:00~17:00 場所: JR 清水駅東口公園

東海大学オフィシャルサイト抜粋

広報メディア学科の学生グループが 第18回ACジャパン広告学生賞のテレビCM部門で 奨励賞を受賞しました

文化社会学部広報メディア学科の小泉真人教授の研究室に所属する学生チームがこのほど、公益社団法人ACジャパンが主催する「第18回ACジャパン広告学生賞」のテレビCM部門で奨励賞を受賞しました。日本の未来を担う若い世代が広告制作を通して公共広告への理解を深め、社会主体にかかわる「公」への意識を育むことを目的に2005年から開催されています。同部門には、2021年度は36校から260作品がエントリーし、23作品がファイナリストに選出。4月に審査結果が発表されました。

小泉ゼミの学生たちは毎年度この広告学生賞での受賞を目指しており、ミーティングや動画編集など約2カ月間にわたって準備を重ねてきました。奨励賞を受賞した東莉央さん(3年次生)、立石一登さん(同)、黒尾みさきさん(4年次生)、野入瑞葉さん(同)、柳原怜奈さん(同)のチームは、ペットをテーマに「もう、振りまわさないで」と題した30秒の動画を制作。ペットの飼育放棄や殺処分問題に焦点を当て、履歴書をペットに見立てて表現し、人間が身勝手に価値を決めてしまう様子を描写しました。東さんは、「私はペットの動物を映像に使うと当たり前のようか考えていたのですが、先輩が“あえてペットを映さない”というアイデアを出した時には驚きました。固定観念にとらわれずにさまざまな視点で物事を見ることで、人の印象に残る面白い発想が生まれるのだと感じています。来年4月から広告関連の企業への就職が決まっているので、面白いアイデアが出せるように学びを深めていきたい」と意欲を見せました。また、立石さんは「チームで取り組んできた成果を評価してもらえてうれしい。テーマや動画の構成は、メンバー全員が納得するまでしっかり話し合っ進めていきました。制作過程では先輩に何度も助けられたので、次回は自分たちが後輩をサポートしていきたい」と意欲を見せています。

指導にあたった小泉教授は、「学生たちの柔軟な発想をはじめ、話し合いを重ねることでメンバー全員が同じ方向を向いていたことが評価につながったと思います。また、今回の活動を通して、作品を鑑賞する受け手側だけでなく、送り手側の価値観や制作段階での葛藤などを感じてもらえたのではないのでしょうか。“どのように相手にメッセージを届けるか”を考えることは広告だけでなく、さまざまな事象が多様化する現代社会で求められるスキルなので、今後も伸ばしてほしい」と語りました。

(記事中の学年は受賞当時)

卒業生の茨選手がデフリンピックの水泳で 金メダル4個、銀メダル3個を獲得しました

湘南校舎で活動する水泳部出身の茨隆太郎選手(大学院体育学研究科2017年度修了・SMBC日興証券)が、5月1日から15日までブラジル・カシアスドスルで開催された第24回夏季デフリンピック競技大会の競泳で金メダル4個、銀メダル3個を獲得しました。デフリンピックは4年に1度、世界規模で行われる聴覚障がい者の総合スポーツ競技大会で、茨選手は高校生の時から数えて4大会連続で日本代表に選出され、いずれもメダルを獲得してきました。今大会では、これまでの実績から日本選手団の主将に任命され、自身最多の7つのメダルに輝きました。

(裏面へ続く)

デフリンピック各競技を通じて日本代表最多となる 10 個のメダル獲得を目指して 12 種目にエントリーした茨選手は、5 月 2 日の水泳初日、50m バタフライ（男子・以下同）で自己ベストを更新して銀メダルを獲得。4 × 100m リレーでも銀メダルを手にし、「初日にいかに結果を残せるかが大切だと考えていたので、納得のいくレースができてプレッシャーや緊張から解放されました」と振り返ります。3 日目には 400m 個人メドレーで金メダル、4 × 100m メドレーリレーで銀メダル、4 日目以降は 100m バタフライ、200m 個人メドレー、200m 自由形と連日金メダルを獲得。「前半から攻める泳ぎが得意で、大会に向けてもそういった練習を積んできました。しかし、現地に入ってから新型コロナウイルス感染症対策として試合以外はホテルから外出できないなど制限された環境下で確実に金メダルを取るためには、前半は抑えて後半に追い上げる泳ぎを徹底したほうがよいと判断しました。得意とする 200m、400m の個人メドレーも自己ベストには届きませんでした。目標としていた金メダルを獲得できてうれしい」と話しました。

しかし、4 種目を残していた 5 月 8 日に、水泳の日本選手団に新型コロナの陽性者が確認されその後の種目を辞退。11 日には複数競技で陽性者が確認され、帯同するメディカルチームなどによる審議の結果、感染源は各競技会場にある可能性が高いとの判断から全選手が同日以降の試合を辞退することとなりました。茨選手は、「その時点で選手団として過去最多の 30 個のメダルを獲得しており、今後の競技も楽しみにしていただけに、競技途中や出場できずに終えた選手を思うと非常に複雑な気持ちです。次回大会は東京も開催候補地に挙がっています。未来の子どもたちが同じ思いをすることがないように、今大会で見つかった課題を今一度洗い直し、自分にできることを考えたい」と話しています。なお、今大会ではバドミントンの太田歩選手（体育学部 2013 年度卒）が団体戦で日本初の銀メダルに貢献。男子ダブルスは準決勝で辞退したため 4 位となりました。また、中田美緒選手（体育学部 4 年次生）が出場した女子バレーボールは同じく準決勝で辞退し 4 位、陸上競技の山中孝一郎選手（工学部 2003 年度卒）は男子 1 万 m で 10 位、男子マラソンは辞退となりました。

東海大学ネットをご活用ください

・ Microsoft Office 365 システムによる生涯メールアドレスの利用
(tokai-u.jp のドメイン) 詳細は以下 URL をご覧ください。
<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/service/net.html>

インターネットホームページについて

URL : <https://www.kouyu.tokai.ac.jp/> (校友会)
<https://www.kouyu.tokai.ac.jp/kouenkai/> (後援会)
<https://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/> (同窓会)

校友会・後援会・同窓会ではホームページを開設しております。会員の皆様からの情報をもとに内容を充実させていきたいと考えておりますので、ご意見・ご希望をお寄せ下さい。事務局までお気軽にお願いいたします。

東海大学校友会（校友会・白鷗会・同窓会）事務局
学校法人東海大学学園事務センター（学園校友ユニット）
〒151-8677 渋谷区富ヶ谷 2-10-2 TEL 03-3467-2211（代表）
E-mail koyukai@tokai.ac.jp

東海大学キャンパスサポートオフィス（後援会担当）
〒259-1252 平塚市北金目 4-1-1 TEL 0463-58-1211（代表）
E-Mail koyu@tsc.u-tokai.ac.jp